



2019年7月3日

「ScoopUSA.com」

日本市場に特化したハワイの商業用不動産とビジネス機会を提供

リアルセレクト・インターナショナルと日本食グルメ街「ワイキキ横丁」の創始者兼最高経営責任者のフランク・クラークは、日本市場向けにハワイの商業用不動産とビジネス機会を提供する新たなオンラインポータル「ScoopUSA.com（スクープユーエスエードットコム）」を発表しました。

このオンラインプラットフォームは、ハワイの商業用不動産業界やビジネス界に、日本の企業市場における広範な投資やビジネス機会をもたらす画期的なプラットフォームです。日本市場は、2019年には米国企業による記録的な投資拡大が見込まれています。

最近のブルームバーグの調査によれば、人口減少と低迷する経済に直面し、成長機会を求める日本企業の間では、海外市場への関心がますます高まっています。2019年には、日本企業による米国内における投資額が、前年比4%増の5千億ドルを上回ると予測されています。日本の銀行は現在、海外資産によって保証された海外投資向けの低金利のファンドを提供し、この傾向を奨励しています。これにより日本の銀行は、海外投資とローンの世界的リーダーに位置付けられています。

またこれらの動向は、2014年以降に日本企業19社が購入したハワイ商業用不動産の総額が4億ドルに達するという**コリアーズ・インターナショナル社による報告書**の内容と一致しています。

クラークは「長年にわたる日本出張やワイキキ横丁立ち上げの際にも、ハワイの商業用不動産や事業投資の良い物件に出会うことがいかに難しいかという日本のクライアントの声をよく耳にしました。一方で、ハワイの資産家や事業家からも、個々のプロジェクトに合致した日本の顧客をどうすれば見つけれられるかという相談を受けることも多く、調査を重ねた結果、両者のニーズに対応できる会社は存在しないことが分かりました。そこで何年にも及ぶ開発の末、誕生したのがScoopUSA.comです」と述べています。

新しいプラットフォーム「ScoopUSA.com」は、ハワイの商業用不動産ブローカーと家主を、基準を満たす日本の見込み顧客と直接つなぐことで、リスティングや登録料なしでのサービスを可能にします。



ハワイの不動産開発大手代表のBJ・コバヤシ氏は「フランクの日本に関する豊富な知識と幅広いネットワークは、当社の開発の多くを成功に導いてくれました。彼の長年の経験と優れた評判により、ScoopUSA.comは、質の高い顧客の集客が可能となることでしょう」と述べています。

「ScoopUSA.com」は、2019年7月7日（日）に東京で初開催となるビジネスイベントで正式に公開されます。すでにチケット完売となっている同イベントの開催に続き、包括的な広告宣伝キャンペーンも予定されています。

「ハワイの気候とライフスタイルは、日本の住宅購入者にとって大きな魅力です。ScoopUSA.comは、日本の顧客をビジネスやビザ取得の機会と結びつけるために開発された専門のプラットフォームです。2018年に日本企業が購入したハワイ商業用不動産の総額は、1億5300万ドルに上りました。現在の経済動向は、今後もこれらの活動に非常に有利に作用すると考えられます」とクラークは語っています。「ScoopUSA.com」について詳しくは、<https://www.scoopusa.com/> をご覧ください。

フランク・クラークについて

長年の実績と評判を誇るハワイの起業家で、日本市場に特化した不動産会社リアルセレクト・インターナショナルと日本食グルメ街「ワイキキ横丁」の創始者兼最高経営責任者。これまでに日本の不動産取引や投資をはじめ、ワイキキのレストラン「ミシェルズ」や西オアフの「カポレイゴルフクラブ」の売却や「ワン・アラモアナ」、「パークレーン・アラモアナ」、「ザ・リッツ・カールトン・レジデンス ワイキキビーチ」などに携わり、数多くの成功実績を残しています。ハワイに進出したい人々へ専門家の紹介、市場調査、コンサルティングも行っています。